

NPO・草の根活動

交野市ボランティアグループ連絡会
手話「さつき」

手話「さつき」の目的は、聴覚障がい者の方々と交流をしながら手話の技術向上、手話の普及に努力することです。

いつでも、どこでも、みんなとお話ができるようにメンバー一丸となってがんばっています。

活動としては、毎週金曜日の例会。日々の生活の中で遭遇したり発見したりする楽しい情報やお得な情報、おいしい情報や時には犯罪に関する情報など身近なことを手話を使って情報交換しています。施設見学や体験学習も行っています。昨年は消防署の施設見学の後、AED(自動対外式除細動器)の使い方と心肺蘇生法を共に学びました。また他市の手話サークルとも一緒に学習したり交流を深めたりしています。

親睦を図るための活動として、料理教室、ハイキング、クリスマス会などの行事を実施しています。クリスマス会では、昔話の手話劇が恒例となっていて、会員の個性に合わせて登場人物を創作してシナリオを書いています。演じている者、見ている者、みんな楽しみながら交流をしています。

交野市聴力障害者協会と市内にある手話サークルの皆さんと一緒に「ろう高齢者入所施設」「ろう重複障害者の通所施設」の施設建設募金に協力しています。「さつき」では手作りのバザーの出店、街頭募金活動をしています。

他には、交野市ボランティアグループ連絡会の行事にも参加しています。ボランティアまつりなどは、紙芝居、朗読劇、会長の挨拶などの手話通訳をしています。

今年で22年目になり、現在の会員数は76名です。設立当時はおひとりだった聴覚障がい者の方も16名になりました。

昨年、大阪府草の根人権活動奨励賞をいただきました。この賞に恥じないように、これからも会員相互の親睦を図り、「聞こえないこととは」の理解を深めるためにボランティア活動をがんばっていきたいと思います。

ジェネシスオブ
エンターテイメント

私たちジェネシスオブエンターテイメントは、「人にとっての娯楽とは?」をテーマにスポーツ・文化活動を通じて、障害のある人とない人との相互理解を深め合い、障害のある人の生活空間の拡充を図ることで、障害のある人とない人との「共通の生きがい」を創造していくことを目的に活動を行っている市民団体です。

活動内容は、障害のある人とない人で踊る車いすダンスの普及を軸に、障害のある人とない人のこれからの社会での関係を提案する講師派遣などを行っています。

車いすダンス活動は、現在20代を中心に多様な世代が参加する車いすダンス教室と、社会人や学生を対象とした講座を年間約100日開催し、1年に1回車いすダンス自主発表会を開催しています。

講師派遣活動は、大阪府内の地域へ、人権をテーマにした講演講座と車いすダンス出演で、行政・企業・教育機関等への派遣を行っています。

現在は特に教育機関において、単発的な講師派遣だけではなく、障害のある人の社会的な課題から、障害のある人とない人がどうすれば現在の立場から、より良く一緒に生きていくことができるのかを考えるワークショップなども提案しています。

また、車いすダンスを障害のある人とない人の表現活動として捉えて、新たな障害のある人たちの芸術分野での就労もめざしています。

想いのある仲間たちと一緒に1997年に始めたこの活動も、今年9月で10年になりました。その間、読売光と愛の事業団第19回福祉活動奨励賞と、2006年度大阪府草の根人権活動奨励賞をいただくことができ、仲間から車いすダンス全日本チャンピオンも誕生しました。

その一方で、私たちは車いすダンスという文化活動に、社会課題の現実を変えるどんな可能性があるのかを問い続け、これからも活動していきたくと思っています。皆さまのご参加とご協力をお願いいたします。

連絡先:大阪府ボランティア・市民活動センター
TEL.06-6762-9631 FAX.06-6762-9679
ホームページ:<http://www.genesis-art.com>
メール:tsuboken@genesis-art.com(坪田建一)